

試験科目	出題意図
物理基礎	力学的エネルギーの保存則や比例関係、交流(実効値・電力)や気柱の振動など、物理基礎で扱う単元を横断して理解できているかを測る。さらに、条件や支配要因が切り替わる場面を整理し、複数の概念を結び付けて立式・計算し、結果を数量的に判断できる力を確認する。
化学基礎	物質の構成と原子の構造に関する問題から、物質を化学的に理解しているかを確認する。化学結合、酸と塩基、酸化還元反応に関する問題から、物質の性質や変化を化学的に理解しているかを確認する。また、物質質量・濃度・反応に関する計算問題を通して物理量と化学量論の理解を確認する。
生物基礎	生物の特徴やエネルギー、遺伝子とその働き、生体環境の維持、免疫機構、生態系の保全などの内容について基本的な概念や知識の理解、また、それらを論理的に考察する力などを確認している。
物 理	等速円運動・振り子・波動・直流回路など分野の異なる現象を、公式暗記に頼らず、運動方程式やエネルギー保存、比例関係(波動ではドップラー等)から自ら立式し、定量的に解けるかを測る。さらに、条件の切替を整理し、図や与条件から必要量を抽出して結果の妥当性を判断できる力を確認する。
化 学	物質の状態に関する問題から、分子の状態に関する基礎的な理解を問う。化学反応と平衡に関する問題から、物質の状態と反応速度に関する理解を確認する。無機物質・有機化合物・高分子化合物について幅広い物質の構造と性質の理解を確認する。
生 物	生物の進化や発生、DNA の複製やバイオテクノロジー、神経系とその反応、植物ホルモン、窒素循環などの内容について、基本のおよび総合的な知識、それらを論理的に考察する能力や理解力などを確認している。
公 共	高等学校の「公共」で学ぶ内容について、基本的な理解の定着度をはかることを意図して作問を行った。出題範囲は、特定の分野に偏らないよう、自己理解、倫理・思想、文化、法律、政治、経済の基礎知識、国際社会の課題など、多様な領域から幅広く取り上げた。
英 語	設問は、大問 4 問(空所補充問題 2 問、読解問題 2 問)とした。空所補充問題では、英語による各種コミュニケーション活動(読む・書く・聞く・話す)に必要な、文法・語彙・表現等の基本的知識の定着を中心に確認した。読解問題では、大学での学修に資する読解力・思考力・表現力等を含む、総合的な英語力の習得状況を確認した。
数 学	高等学校の数学 I で学ぶ、数と式・二次関数・図形と計量・データの分析の各分野で、問題を解く過程において、基本的な概念の理解、数学的に表現・処理する力、論理的に考察する力、学んだ知識や技能を統合的・発展的に考察する力など幅広くみた。
国 語	言語を手掛かりとしながら、論理を丁寧にたどり、文章の内容を的確に読み取る力や思考力を確認する。各大問とも、漢字・語彙など基礎学力を問うものから文章全体を把握する読解力を問うものまで、多様な設問構成とした。なお、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高めるため、言語活動の場面を出題に取り入れた。